

福島原発事故の避難解除

飯舘村民の思いは

政府は東京電力福島第1原発事故による避難指示を今春、福島県4町村で解除しました。福島市で避難生活を送る、避難指示が解除された飯舘村民の思いは。

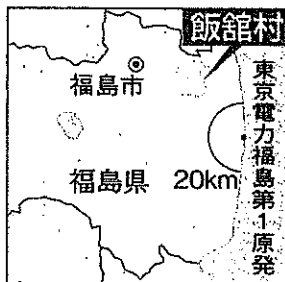


娘の健康が心配です

高橋和幸さん(43)

帰還に向けた説明会で、住民合意はあるのか、放射線の危険をどう考えるのか、と質問しましたが、答えは返ってこなかった。

村でおおじと林業をやっています。原発事故が起った2011年3月の前月に、



有り金はたいて60町歩の山を買った。原発事故で汚染されてパーですよ。賠償判断が難しく、わずかししか出なかった。

9歳の娘の甲状腺がんが心配です。政府は「チェルノブイリより被害は小さい。100μSv以下のリスクは分からない」と繰り返すばかり。私は、がんの不安を一生抱えていかななくてはいけない。訴訟を起こしたい気持ちだ。除染したというけれど、村の8割を占める森林は手付かずですよ。風や雨で放射性物質が降りてくる。どうするんですか。私は村には帰らないが両親は帰ります。村の野菜も食べません。それを私は否定しません。年齢のこともあるし、好きにやるのがいいと思う。確実に安全だということが示されるなら、本当をいおうと、私も村に帰って、おおじと一緒に林業をしたい。

ワインの里にしたい

長谷川芳博さん(47)

地域の実情も違うのに、まとめて年度末に避難指示解除なんておかしいでしょ。除染廃棄物の入ったフレコンバツクの最後の1個がなくなつてから解除でしょ。国がスケッチャールを決めて、村も動く。飯舘村は気温が低すぎるので、冬の間は福島市で農業を続けてきた。原発事故が起きて、飯舘村の分はもちろん、



福島市での作物も取引は中止された。販路はいったん切られると戻りません。農業はもともと、仕事も経営もきつから、かなりの農家が原発事故を機にやめていった。でも、おれは農業のパイオニアになりたい。福島市でがんばる。今は総敷地40坪くらいのビニールハウスでキュウリをつくって、黒字が出るようになった。「農業はかっこ悪い」といわれて、離婚したことがあってね。農業で成功して子どもに見せてやりたい。仲間ととりかかっているのは、飯舘村にワイナリー工場をつくること。ブドウは実がつくまで5年かかる。8年後には工場をつくりたい。放射能のことまでいぶ忘れられるでしょう。飯舘村をワインの里にするのが夢です。